

## 考えたい使い捨ての習慣



捨て方にもモラルを

## 重点運動として推進

## 皆さん協力を

市では、「ごみの減量と資源の再利用運動」を進めため、準備期間をへて、関係各課を招集し、会合を開きましたが、この運動は清掃課と清掃事業所が主体となり各分野にわたって、横の連絡を密にしていかなければなりません。しかし、この運動の効果を高めるためには、市とあわせて、市民の皆さんの賛同がなければなりませんので、ぜひ次のような点に協力くださることをお願いします。

◇物を大切にしてください。捨てることは高くつきます。  
◇紙・布・カバン・ビンなど、再利用できるものは廃品回収業者に出售してください。

本の生産高ではなくてもまかないきれず、バルブ資源を海外に求めています。ですが、一回だけ使用した紙を灰にしていけば、森林の荒廃は早まり、原材料の枯渇は目に見えていきます。

これと同様に、鉄やアルミ、石油などが埋蔵量は限られ、現在のところが、家庭から出されると金物は金物、ビンはビンなど、多くの資源を使いつぶされれば、多くの資源を使いつぶされることは、違ひ先ではないといわれるのは、違ひ先ではないといわれます。

三十年といわれます。

このような状況の中での対策の一

つは、生産量を減らすこと、つ

まり使用量を少なくすることで、

また、生産量を少なくすることで、





## 第48回 成人学校科目、内容、講師一覧表

| コース | 科 目                                  | 定員  | 学習の内容                   | 講 師                | 備 考                          |
|-----|--------------------------------------|-----|-------------------------|--------------------|------------------------------|
| 昼の部 | 講演<br>(6月1日午後<br>6:30~8:00)<br>本町小講堂 |     | 人間関係を豊かにする話し合いの仕方       | 元NHKアナウンサー<br>今福 祝 | 昼・夜のコースを問わず受講者全員を対象とします。     |
|     | 着付け教室                                | 30名 | 和服の一般知識、着物の美しい装い方       | 日本和装教育協会講師<br>今井和子 | その都度講師が指定します。若干の教材費が必要となります。 |
|     | 調理                                   | 35名 | 夏にそなえたスタミナ料理            | 料理研究家<br>鶴田スミ      | 教材費<br>2,500円                |
| 夜の部 | 水墨画                                  | 30名 | 水墨画の基礎的技法を学ぶ            | 唐画研究家<br>対木貞弥      | 教材費<br>1,500円<br>硯、水洗        |
|     | 万葉集入門                                | 40名 | 古典に親しみ、古代の人の心にふれる       | 小田原短歌会会长<br>杉山長風   | 筆記用具                         |
|     | 詩入門                                  | 40名 | 広く古今東西の名詩を鑑賞し、詩の世界を散策する | 詩人<br>光山樹太郎        | 筆記用具                         |
|     | 民話の探求                                | 40名 | 概論を学び民話の心を探る            | 民話研究会<br>湯山厚       | 筆記用具                         |
|     | 簿記                                   | 40名 | 簿記の基本的理論を習得し実生活に生かす     | 県職業訓練校指導員<br>今井界   | 筆記用具<br>そろばん                 |
|     | 茶道                                   | 30名 | お点前が出来るまでの基本的な技術の習得     | 裏千家<br>安斎宗汀        | 教材費<br>2,000円<br>(教本を含む)     |
|     | ペン習字                                 | 40名 | ペン字を美しく書くための基礎的な技術の実習   | 県書写検定委員<br>樋口昌子    | テキスト代<br>200円<br>ノート・ペン      |
|     | 写真                                   | 40名 | 写真の基礎的な技術を学び日常生活に役立てる   | 日本写真家协会会员<br>小野議   | 筆記用具                         |

## 春の成人学校

申込は 5月16・17日

市教育委員会では、市民の皆さんが教養、趣味、生活技術などを楽しく習得していくため、つぎのとおり成人学校を開きます。  
なお、開校式には、元NHKアナウンサー今福祝(しゅくさん)を招き、講演を予定しています。

一 期間、会場  
(1) 屋の部  
期間 五月二十日(土)~七月  
十三日まで、毎週火曜日  
の八日間  
時間 午後一時三十分~三時  
三十分  
会場 中央公民館

二 受講資格  
(1) 市内に住んでいたるかた、あるいは、市内に勤めているかた  
(2) いずれも十六歳以上のかたで  
学生、生徒は除きます。  
(3) 同じ科目を二回にわたって受講することはできません。

三 受講料  
(1) 一人一科目300円。ただし  
・電話での申し込みは、受け  
受け付けは、先着順で、定員になりたい締め切りま  
す。  
・本人が直接おいで下さい。  
・申し込みは、一人一講座に  
限ります。

四 その他  
・受け付けは、先着順で、定員になりたい締め切りま  
す。  
・本人が直接おいで下さい。  
・申し込みは、一人一講座に  
限ります。

五 講座によって、教材費などの  
費用をいたなごとあります。

(1) 受講料は、申し込み当日、受け  
付けでお支払いください。

(2) 調理は、教材費を同時に納め  
ていただきます。

(3) 一度納めた費用は、原則とし  
て、お返しません。

(4) 申し込みの方法  
(朝日) 五月十六日(日)、十  
七日(月)の二日間。

(時間) 両日とも午前九時から  
午後六時まで。

(会場) 本町小学校講堂

(5) まだ、各科目とも、全日程の  
申込です。

六 その他の  
(1) 各科目とも、学習内容は、初  
心者のかたを対象にして計画  
されています。

(2) また、各科目とも、全日程の  
付ません。

五 科目、内容、講師は、別表の  
とおりです。

(1) 各科目とも、学習内容は、初  
心者のかたを対象にして計画  
されています。

(2) また、各科目とも、全日程の  
付ません。

六 日以上、夜の部は七日以上  
の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)

の出席者は、修了証をさし  
上げます。

(1) 成人学校に関するくわしいこ  
とほ、小田原市中央公民館(電  
話三一五八九五)へお問い合わせください。

あわせください。

うち、七割以上(昼の部は六  
日以上、夜の部は七日以上)





## 青少年指導員補導員を委嘱

自治会連合会長から推せんを受けた青少年指導員並びに青少年補導員が市長から委嘱されました。任期は2年間で、役割等については別表のとおりです。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、地域別の委嘱者、その他詳細については、担当課にお問い合わせ下さい。

| 名称 | 青少年指導員   | 青少年補導員   |
|----|--|--|
| 目的 | 地域社会における青少年の自発的活動とその育成組織活動を推進するため小田原市青少年指導員を設け青少年の健全な育成をはかることを目的とする。   | 青少年を非行化から守るために、不良行為少年等を早期に発見し、あやまちをおこさないよう適切な指導を行い、青少年の健全な成長をはかることを目的とする。                                  |
| 役割 | (1)青少年団体の指導育成と組織化<br>(2)文化、レクリエーション活動の推進<br>(3)青少年育成組織の強化とその地域活動の推進<br>(4)勤労青少年の指導育成と福祉の増進<br>(5)環境の整備と浄化活動<br>(6)青少年に関する相談と愛護活動<br>(1)~(4)の健全育成活動の分野を主体に活動を行い<br>(5)(6)の非行防止活動はできる範囲内において協力する | (1)街頭補導活動<br>(2)青少年の不良行為等についての相談活動<br>(3)不良行為少年に対する継続補導活動<br>(4)地域における青少年の非行防止活動の推進<br>(5)地域における青少年指導の協力活動 |
| 対象 | 青少年及び青少年指導者  | 青少年(20歳未満)   |
| 人員 | 145人   | 100人   |
| 所管 | 福祉部青少年課  | 福祉部青少年相談センター   |

## 競輪場周辺道路の総合交通規制日

5月23日(日)24日(月)25日(火)30日(日)31日(月)

6月1日(火)17日(木)18日(金)19日(土)20日(日)21日(月)22日(火)

## 秩父宮賜杯 第16回 実業団・学生対抗陸上競技大会

6月13日(日) 午前9時20分

小田原市城山陸上競技場

競技種目 男子20種目 女子12種目

主催 日本実業団陸上競技連合  
日本学生陸上競技連合

後援 日本陸上競技連盟

神奈川県

神奈川県教育委員会  
小田原市  
小田原市教育委員会



## 電気設備の故障診断と直しかた…②

○ブレーカーが切れる原因

1. 電灯や電気器具を契約容量以上に使用したとき。
2. 電気器具やコード、ソケットなどの故障(ショートなど)で過大な電気が流れたとき。

○ブレーカーが切れたたら

まず上記原因のいずれかを調べましょう。

1. 電気器具を使い過ぎて切れたと思われるとき、使用している電気器具を減らしブレーカーのつまみを上にあげます。

使い過ぎの場合はこれで電気がつなぎます。

2. 故障でブレーカーが切れたと思われるとき、故障していると思われるコード、プラグなどをコンセントから抜いて、ブレーカーのつまみを上にあげます。

○電気器具などの故障もなくたびたびブレーカーが切れる場合

故障もなくひんぱんにブレーカーが切れるのは、電気の使いかたが契約容量以上になっているからです。

